

地域福祉学習事業

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

平成28年度 地域福祉学習事業実績報告

(この事業は、共同募金の分配を受けて実施しました)

下宮小学校

【目的】

様々な人のふれあいや体験的な活動を通して、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

【内容】

〈総合的な学習の時間〉

- ・学習を通して、福祉についての正しい知識を持つ。
 - ・立場が違う人のことを理解して、相手の立場に立つことの大切さと思いやりの心を育てる中で、実践意欲を高める。
- (1) 高齢者、障がいのある方々の疑似体験
 - ・体におもりを身に付けた歩行、イヤーフエンダーを付けての会話、アイマスクを身に付け白杖を使った歩行など。
 - (2) 幼児園訪問
 - (3) デイサービスセンター訪問
 - (4) 福祉について学習したことを模造紙にまとめる。



【成果】

- ・高齢者、障がいのある方々の疑似体験(介護者の体験など)を通して、相手の立場に立つ難しさや大切さを実感しながら学ぶことができた。また、実生活の中で自分ができることを考え、実践していこうとする態度を育てることができた。
- ・幼児園訪問で、園児との交流を通して、幼児が安心して活動できるように思いやりある活動ができた。
- ・デイサービスセンター訪問の中での施設見学や講話、高齢者の方とのふれあいを通して、正しい知識を身に付け、福祉について興味をもつことができた。
- ・福祉について学習したことをふり返り、興味をもったことについて調べ学習を行う中で、福祉についての幅広い知識をもつことができた。



北小学校

【目的】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

【内容】

- 高齢者や障害のある方とのふれあい活動や手話学習の実施（「総合的な学習の時間」等）
- ・特別養護老人ホーム「りんどう」の訪問（高齢者との交流）
- ・高齢者や障がい者の生活疑似体験活動
- ・人権学習（ひびきあいの学習）
- ・総合的な学習の時間で学んだことを発表（学習発表会）
- 祖父母参観・ふれあい教室など学校行事等でのふれあい活動
- ・祖父母や公民館関係の講師との交流
- ・登下校時における見守り隊の方との交流（感謝の会）
- 異年齢集団による交流
- ・1年生と北幼稚園の交流（伝承遊び・学校探検他）
- ・ゆ〜ゆ〜班によるふれあい活動（大縄跳び等）
- 授業（クラブ・総合的な学習の時間等）での地域や保護者の方とのふれあい活動
- ・クラブやおはなしひろば<講師>
- ・野菜や米作り、みかん作り<講師>（2・3・5年生）
- ・町探検での交流（1〜3年生）
- ・音楽療法や和太鼓の活動<講師>（なかよし）



【成果】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいや手話の学習等の活動を通して、高齢者や障がいをもつ方への理解を深め、自分ができることは何かを考えることができた。
- ・保護者や地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できてきている。
- ・幼稚園や異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心と王学年としての自覚が育ってきている。



南平野小学校

【目的】

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

【内容】

○美化活動

- ・8月に実施。運動場や校内の清掃活動を全校で行った。

○心の教育推進活動

- ・年間を通して、植物や生き物の世話をし、生命の大切さについて考える指導を行った。
- ・助産師、保健師の協力を得て3年「いのちの授業」を実施した。
- ・グリーンカーテン設置に伴って、プランターの整備や植物の世話等を行った。
- ・校区祭を「お弁当の日」として、家族で弁当をつくり、学校で一緒に食べた。

○伝統文化・達人の技の継承

- ・地域の達人から学ぶ(クラブ)(茶華道、俳句、絵手紙等)
- ・へちま作り、農園の栽培活動

○福祉学習【社会 総合的な学習 とともに生きる】

- ・5年：障がいをもった方やお年寄りとの関わり方についての体験や調べ学習を行い、11月に発表会を開いた。
- ・子育て支援センター訪問。
- ・手話サークルの人に話を聞く。
- ・町社会福祉大会での発表

○地域への訪問・交流を年間を通して実施

- ・幼稚園との交流 伝承あそび

○学校行事への招待

- ・運動会 ・感謝する会 ・校区祭(学習発表会)

○環境委員会の活動

- ・アルミ缶回収
- ・一円玉募金

○教職員の資質向上

- ・道徳教育研修会



【成果】

- ・障がいをもった方やお年寄りとの関わり方についての学習をととして福祉活動に関する理解を深めることができた。
- ・地域人材を活用した伝統文化を学ぶ活動や各交流活動、環境の学習・整備をととして地域の方との触れあいを深めると共に地域を知り、地域を大切にする気持ちをもつことができた。



神戸小学校

【目的】

幅広い体験や活動を通じて、他を思いやる心を持ち、進んで行動する児童を育成する。

【内容】

〈5年生 総合的な学習〉

- ・障がいのある方や高齢者の生活の様子や思いを資料、DVDや体験などを通して知り、自分たちができることを考えることができた。
- ・「もちのき園」の訪問や社会福祉士、老人介護施設の方との交流により、福祉の仕事や活動に関心をもった。
- ・調べて分かったことを資料や福祉新聞にまとめ、地域の方や地域の方に伝えた。
- ・パラリンピック2020へ向けての福祉ポスターを作成、応募した。
- ・校区祭をはじめ、福祉活動に携わっていただいた方々にお礼の手紙を書いた。

【成果】

DVDや模擬体験用部品を活用して、障がいのある方や高齢者の方の疑似体験をしたり、社会福祉士である保護者、老人介護施設勤務の方々、「もちのき園」の方々からお話をうかがったりした。これらの体験学習や講話などを通して、福祉の心を養うことができ、自分たちができることを考え、課題意識をもって活動することができた。



神戸中学校

【目的】

- ・福祉委員会を中心に、町社会福祉施設との交流を行い、他者を思いやる心を育てる。
- ・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。
- ・植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にする心を育てる。

【内容】

1. もちのき園との交流活動、居住地交流
 - ・コンポートフラワーづくり
 - ・調理実習
 - ・鉢花の購入
2. 農園での野菜の栽培
 - ・維持・管理費

【成果】

1. 神戸町社会福祉施設「もちのき園」で福祉委員会の生徒を中心に交流を行い、講師を招いてコンポートフラワーを作りを行った。
2. 卒業式に飾る鉢花を、各学級で水やりをして育て、式場を飾った後に「もちのき園」に寄贈して交流を継続することで、福祉への意識を高めた。
3. 特別支援学級の生徒が中心となり、校内の畑にさまざまな作物を植えて育てた。収穫した作物を職員に販売（実習）したり、居住地交流で調理実習を行ったりするなど、生活単元の題材にすることができた。

